

広報 みたらの杜

2021. 2月号

【発行日】

令和3年2月8日

コロナ渦の中、みたらの杜も静かにお正月を迎えさせて頂き、感染から入居者様を守る為、職員一同、気を引き締めて迎えた新年でした。外出制限や面会制限、密を避けるために、みたらの杜でも沢山の制限を課せられる中、『少しでも楽しみを』とユニット職員が考えた、ユニット内での行事をいくつかご紹介させて頂きます。



♪ 甘酒作り ♪

♪ ボーリング大会 ♪



今年の節分は、124年ぶりの2月2日でした。みたらの杜でも、海苔巻きや卵巻きで、季節を味わい、『みんなが健康で幸せに過ごせますように』と願いを込めて、豆まきをして、海苔巻きを頂きました。

鬼と一緒に♪

鬼は外～♪

ハイチーズ♪

ちょっと鬼になってみる♪



編集後記

みたらの杜の周辺の坂道は、ツルツルのアイスバーン状態で、帰り際に、入居者様から『気を付けて帰んなよ』と声をかけてもらって、心がほっこりしながら帰宅する日々です。面会制限が続く中、入居者様、ご家族の皆様には、本当に寂しい思いをさせてしまっているなあと感じつつ、そんな中、コロナだからと、移したら困るからと、ご家族に配慮して頂く事も多々あり、とても感謝しております。早くコロナが落ち着いて、入居者様とご家族が自由にご面会出来るようになる日を、心から願っております。

☆編集：みたらの杜 大石 明子

室蘭市絵鞆町2丁目22-1

☎0143-26-2700

入居者様の言葉

日々、入居者様と過ごさせて頂く生活の中で、何気なく話される言葉の中に、多くの苦労や喜びや悲しみ、長く生きてこられた沢山の想いや、優しさ、強さ、ご家族への想い等、また、ユーモアに溢れる言葉が、私たちの心に染みる言葉があります。

そんな言葉をご紹介します。

早くご家族に会いたいなあと言われている

入居者様の一言・・・まだコロナいるんだね。。。

『よし、俺が春になったらコロナ退治に行つてやるから』

思わず、「お願いします。」と言ってしまい、笑ってしまいました。色々な制限で我慢を強いられながらも、まるで、「常に笑顔。」って言っているような、優しい言葉に尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。

新型コロナウイルス感染症による 面会自粛制限について

特別養護老人ホーム みたらの杜
地域密着型特養 舟見の杜 2014
ご家族・ご契約者 様

昨年 12 月より施設では、2 回目の「新型コロナウイルス感染防止対策」として、「面会自粛」についてご家族様にご理解とご協力を頂いている所でございます。国の緊急事態宣言を受けた都府県、北海道独自の対策等各自治体で「感染拡大防止」に努めている中、胆振管内の発生状況はここ数日一桁台（5 名前後）ではありますが、以前「感染者 0 名」とはならず、予断を許さないのが現状です。このような状況下において、皆様のご理解とご協力のお陰で、本日まで「みたらの杜・舟見の杜」からの新型コロナウイルス感染者（入居者様及び職員）が確認されておりません。今後も私たち全職員は「感染予防や行動自粛」に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

さて、施設での「面会（対面）自粛」につきましては、「新型コロナウイルス感染症」の現状を踏まえ、引き続き期間延長を考えていますが、**新たな試みとして「玄関フードガラス越しの面会」**が行えないか準備中です。ご家族様には実際に施設へ面会に来ていただき「玄関フード専用スペース」からの「入居者様との対面での面会」方法となります。**3 月中旬の実施を目途**に準備を進めておりますので、整い次第後日改めてご家族・ご契約者様には「面会方法」について文書でお知らせをいたします。但し、特に胆振管内の感染拡大状況が悪化した場合は延期を致しますので予めご了承願います。

私たちは、一日も早い「収束宣言」が迎えられるよう、日々予防に徹し過ごしていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021 年 2 月

特別養護老人ホーム みたらの杜・地域密着型特養 舟見の杜 2014 施設長 伊藤隆治